

経済学部A方式Ⅱ日程・社会学部A方式Ⅱ日程  
スポーツ健康学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

| 科 目   | ページ   | 科 目   | ページ   |
|-------|-------|-------|-------|
| 政治・経済 | 2～17  | 日 本 史 | 18～34 |
| 世 界 史 | 36～48 | 地 理   | 50～58 |
| 数 学   | 60    |       |       |

〈注意事項〉

- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 試験開始後の科目の変更は認めない。
- 数学は以下の注意事項に従うこと。
  - 解答用紙の所定の欄に受験学部を○で囲むこと。
  - 解答を導く途中経過も書くこと。
  - 解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
  - その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
  - 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
- マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

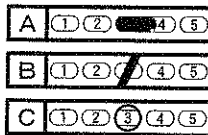
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

- 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
- 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
- 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

# (日 本 史)

〔I〕 次のA～Cの文章を読み、下記の問いに答えよ。

A 7世紀初めに (1) が隋に派遣された際、 (2) ら留学生・学問僧が同行した。彼らは中国の制度・思想・文化についての新知識を日本に伝えた。中国の王朝が唐に代わってからも派遣は続き、先進的な政治制度や国際的な文化を日本にもたらした。とくに (3) は帰国後、<sup>(a)</sup>聖武天皇に重用されて活躍した。他方、留学生の (4) は唐で重用されて高官にのぼり、その地で客死したように、唐に留まる者もいた。この頃、朝鮮半島を統一した新羅との間にも多くの使節が往来したが、 (5) が新羅攻撃を計画するなど、日本との関係に緊張が生じることもあった。一方、中国東北部に建国された渤海と日本は友好的に<sup>(d)</sup>通航した。大帝国であった唐も、8世紀に起きた内乱である (6) の後は衰退を続け、9世紀末、 (7) の建議により日本は唐への派遣を中止した。10世紀初めに唐は滅び、その後宋によって再統一が果たされた。この頃、渤海は遼に滅ぼされた。<sup>(f)</sup>

B 13世紀に (8) が起したモンゴル帝国は、女真人の建てた金を滅ぼした。 (8) の後継者の一人は、国号を元と定めると、高麗を服属させ、日本に対してたびたび朝貢を強要してきた。幕府の (9) はこれを拒否したため、元は日本を攻めた。その後、中国では、14世紀に (10) が元の支配を排して明を建国した。明は近隣の諸国に通航を求め、これに応じた足利義満は (11) を正使とする使者を明に派遣して国交を開いた。朝鮮半島では、14世紀末に武将の (12) が高麗を倒し、朝鮮を建てた。朝鮮も通航を求めてきたため、義満もこれに応じて両国の間に国交が開かれた。日朝貿易は活発に行われたが、 (13) が起ってから、次第に衰えていった。16世紀になるとスペインとポルトガルを先頭にヨーロッパ諸国が東アジアに進出してきた。<sup>(m)</sup>

C 1600年、オランダ船リーフデ号が豊後に漂着すると、徳川家康は水先案内人の英国人 (14) を外交・貿易の顧問とした。家康はスペイン領のメキシコとの通商を求め、 (15) を派遣した。また伊達政宗は (16) をスペインに派遣した。江戸時代初期は日本人の海外進出も盛んで、幕府は商人たちに海外渡航を許可する朱印状を与え、朱印船貿易が盛んになった。海外に移住する日本人も増え、彼らの中には (17) のようにアユタヤ朝の王室に重く用いられた者もいる。しかし幕府は、1633年には奉書船以外の日本船の海外渡航を禁止した。さらに翌々年、日本人の海外渡航と在外日本人の帰国を禁止し、1639年にはポルトガル船の来航を禁止して、以後、オランダ・清・朝鮮・琉球王国以外の諸国との交渉を閉ざすことになった。このうち琉球王国は、(18) の軍に征服され、薩摩藩の支配下に入ったが、中国との朝貢貿易は続いた。琉球は、国王の代替わりごとに (19) を、将軍の代替わりごとに (20) を幕府に派遣した。

問1 空欄 (1) ~ (20) にあてはまるもっとも適切なものを以下のア  
～ロからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |          |             |            |
|----------|-------------|------------|
| ア 黄巾の乱   | イ 肥富        | ウ フビライ=ハーン |
| エ 支倉常長   | オ 安史の乱      | カ 藤原仲麻呂    |
| キ 通信使    | ク 黄巢の乱      | ケ 高津家久     |
| コ 謝恩使    | サ 朱元璋       | シ 田中勝介     |
| ス 小野妹子   | セ 島津義久      | ソ 小野篁      |
| タ 李成桂    | チ 吉備真備      | ツ 田中丘隅     |
| テ 山田美妙   | ト 李鴻章       | ナ 北条高時     |
| ニ 北条時宗   | ヌ キプチャク=ハーン | ネ 朱子学      |
| ノ 山田長政   | ハ 冊封使       | ヒ 日本町      |
| フ 慶賀使    | ヘ 三浦按針      | ホ 祖阿       |
| マ 三浦の乱   | ミ 島津久光      | ム 紀貫之      |
| メ 藤原武智麻呂 | モ 南淵請安      | ヤ 阿倍仲麻呂    |
| ユ 耶揚子    | ヨ チンギス=ハーン  | ラ 菅原道真     |
| リ 李舜臣    | ル 犬上御田歟     | レ 村山富市     |
| ロ ヴィツテ   |             |            |

問2 下の(1)~(10)は、上の文章A~Cに関連した正誤問題である。それぞれ答えなさい。

[解答群]

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | X | 正 | Y | 正 | Z | 正 | イ | X | 正 | Y | 正 | Z | 誤 |
| ウ | X | 正 | Y | 誤 | Z | 正 | エ | X | 正 | Y | 誤 | Z | 誤 |
| オ | X | 誤 | Y | 正 | Z | 正 | カ | X | 誤 | Y | 正 | Z | 誤 |
| キ | X | 誤 | Y | 誤 | Z | 正 | ク | X | 誤 | Y | 誤 | Z | 誤 |

(1) 下線部(a), (e)に関連して述べた次の文X~Zについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを上の解答群ア~クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

X 遣唐使の航路は初め北路をとったが、新羅との関係が悪化すると南海路、南路へと変わった。

Y 「揚州の金、荊州の珠、呉郡の綾、蜀江の錦、七珍万宝一として關たる事なし。」とあるように平氏の経済基盤の一つは日宋貿易であった。

Z 遣唐使に従って入唐した最澄は、帰国後、新しく独自の大乘戒壇の創設をめざした。

(2) 下線部(b)に関連して述べた次の文X~Zについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを上の解答群ア~クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

X 『続日本紀』には貞観年間に陸奥国で大地震があったと記されている。

Y 藤原種継の乱が起きてから数年の間、恭仁・難波・紫香楽などに都を転々と移した。

Z 「宜しく天下諸国をして各敬みて七重塔一区を造り、并せて金光明最勝王経・妙法蓮華経各一部を写さしむべし。」とする国分寺建立の詔を出した。

(3) 下線部(c), (d), (f)に関連して述べた次の文X～Zについて, その正誤の組み合わせとして正しいものを上の解答群ア～クから一つ選び, その記号を解答欄にマークせよ。

X 遼は南下によって北宋を滅ぼし勢力を拡大したが, 沿海州の金によって滅ぼされた。

Y 唐と結んだ新羅は旧百濟勢力と結んだ日本を白村江の戦いで破った後, 朝鮮半島の支配権を確立した。

Z 日本は都の志苔館や越前の松原客院に滞在する渤海使を厚遇するとともに, 遣渤海使を送った。

(4) 下線部(g), (h)に関連して述べた次の文X～Zについて, その正誤の組み合わせとして正しいものを上の解答群ア～クから一つ選び, その記号を解答欄にマークせよ。

X 高麗は30年余りモンゴル軍に抵抗した後に服属したが, 以後も三別抄の乱などさまざまな形で抵抗を続けた。

Y 高麗は, 宗氏の当主が交代して倭寇の活動が活発になったため, 倭寇の本拠地と考えられていた対馬を襲撃した。

Z 1019年の刀伊の入寇は, 大宰権帥藤原隆家が指揮する九州の武士たちによって撃退された。

(5) 下線部(i), (k)に関連して述べた次の文X～Zについて, その正誤の組み合わせとして正しいものを上の解答群ア～クから一つ選び, その記号を解答欄にマークせよ。

X 文禄の役の和平交渉で明は, 秀吉を「日本国王」に封じ, 朝貢を許すという態度をとったので交渉は決裂した。

Y 幕府は, 対馬の宗氏から派遣する船を年50隻に制限する己酉約条を朝鮮と結んだ。

Z 日明貿易は義持が将軍の時に一時中断し, 義政が将軍の時に再開された。その後, 細川氏と大内氏の手に移り, そして寧波の乱で勝った大内氏が貿易を独占した。

- (6) 下線部(i)に関連して述べた次の文X～Zについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを上の解答群ア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

X 北山殿の金閣の建築様式は、伝統的な寝殿造風と禅宗寺院の禅宗様を折衷したものである。

Y 義満は、大覚寺統の後亀山天皇が持明院統の後小松天皇へ皇位を譲位する形で南北朝の合体を実現し、以後、両統迭立を守らせた。

Z 義満は明德の乱で山名氏清を滅ぼし、応永の乱で大内義弘を討伐するなど、有力守護の勢力削減に努めた。

- (7) 下線部(i), (ii)に関連して述べた次の文X～Zについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを上の解答群ア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

X ポルトガル人マゼランは、スペインの船隊を率い、アメリカ大陸南端をまわってフィリピン諸島に到達した。

Y スペイン人・オランダ人は紅毛人と呼ばれたのに対し、ポルトガル人・イギリス人は南蛮人と呼ばれた。

Z スペインは、16世紀半ばにはインド西海岸のゴアを根拠地にして東アジアに進出し、中国のマカオに拠点を築いた。

- (8) 下線部(n), (o)に関連して述べた次の文X～Zについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを上の解答群ア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

X 政宗は「万国へ船舶を遣りて、国用の要用たる産物、及び金銀銅を抜き取て日本へ入れ、国力を厚くすべきは海国具足の仕方なり。」と幕府に進言した。

Y 家康は朝鮮や琉球王国を介して明との国交回復を交渉したが、明からは拒否された。

Z 家康は後水尾天皇に譲位をせまり、明正天皇を即位させた。

(9) 下線部(p), (q)に関連して述べた次の文X～Zについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを上の解答群ア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

X 朱印船貿易では日本からは銀・銅などを輸出し、日本の銀輸出額は世界の銀産出額の3分の1におよんだ。

Y 朱印船は有馬晴信らの大名のほか、末次平蔵・角倉了以・末吉孫左衛門らの商人によっても出された。

Z 奉書船とは朱印状のほか、老中奉書という許可状を受けた海外渡航船のことである。

(10) 下線部(r), (s), (t)に関連して述べた次の文X～Zについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを上の解答群ア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

X 幕府は1688年に清船来航を年70隻に制限し、平戸と長崎に唐人屋敷を設けて清国人の居住を限定した。

Y 江戸時代になると琉球王国は東南アジアとの貿易を開始して、首里の外港である那覇は幕末まで重要な国際港であった。

Z オランダ国王は「独国を鎖して万国と相親しまざるハ人の好ミする所にあらず。……是に殿下に丁寧な忠告する所なり。」と記した親書を徳川家定に送った。



〔Ⅱ〕 次のA～Eの表と文章を読み、下記の問いに答えよ。

A 以下の表は、明治期における政府一般会計歳入の内訳を示したものである。

|      | 租    |      | 税    |     | その他  | 計     |
|------|------|------|------|-----|------|-------|
|      | (1)  | (2)  | (3)  |     |      |       |
| 1868 | 9.5  | 6.1  | —    | 2.2 | 90.5 | 100.0 |
| 70   | 44.5 | 39.2 | —    | 3.1 | 55.5 | 100.0 |
| 75   | 85.2 | 72.5 | 3.7  | 2.5 | 14.8 | 100.0 |
| 80   | 87.2 | 66.8 | 8.7  | 4.1 | 12.8 | 100.0 |
| 85   | 84.6 | 69.2 | 1.7  | 3.4 | 15.4 | 100.0 |
| 90   | 62.1 | 37.6 | 13.1 | 4.1 | 37.9 | 100.0 |

(単位：%)

問1 表中の空欄(1)～(3)にあたる税目を以下のア～ケからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 法人税    イ 所得税    ウ 地 租    エ 住民税    オ 営業税  
カ 関 税    キ 酒 税    ク 相続税    ケ 印紙税

問2 1870年から1875年にかけて租税収入の構造が大きく変化している。そのもっとも大きな要因となった政策を以下のア～ケから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 廃刀令            イ 士族授産            ウ 殖産興業            エ 秩禄処分  
オ 徴兵令            カ 廃藩置県            キ 版籍奉還            ク 地租改正  
ケ 田畑勝手作許可

問3 次の表は、小作人生産米の配分比率の変動を示している。(1)~(3)にもっとも適切な語句を以下のア~オからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

|             | (1) | (2) | (3) |
|-------------|-----|-----|-----|
| 1873年       | 48  | 10  | 42  |
| 1873年~89年平均 | 22  | 36  | 42  |
| 1890年~92年平均 | 13  | 51  | 36  |

(単位：%)

ア 国家      イ 商人      ウ 小作      エ 銀行      オ 地主

B 以下の史料は、ある外相の回顧録の一節である。

明治二十七年七月十三日付を以て、(1) 公使は余<sup>(a)</sup>に電稟<sup>でんひん</sup>\*して曰く、「本使は明日を以て新條約に調印することを得べし」と。而して余<sup>(a)</sup>が此<sup>この</sup>電信に接したるは抑<sup>(b)</sup>々如何なる日ぞ。雞林八道<sup>けいりん</sup>\*\*の危機方に旦夕<sup>まさ たんせき</sup>に迫り<sup>(a)</sup>\*\*\*、余<sup>(a)</sup>が大島公使に向ひ「今は断然たる処置を施すの必要あり。何等の口実を使用するも差支なし、実際の運動を始むべし」と訣別類似の電訓を發したる後僅に二日を隔つ<sup>(c)</sup>るのみ。

[備考] 必要に応じて句読点およびルビを付し、旧字体の漢字は新字体に変更してある。また(\*)~(\*\*\*)の意味は以下である。

- \* 「電稟」とは電報で承認を求めることをさす。
- \*\* 「雞林八道」とは新羅の別称。転じて朝鮮の異称。
- \*\*\* 「旦夕に迫り」とは事態が切迫していることをさす。

問1 下線部(a)の「余」にあたる人物を以下のア~クから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 大隈重信      イ 井上 馨      ウ 西園寺公望      エ 加藤高明  
オ 林   薫      カ 陸奥宗光      キ 西   徳二郎      ク 小村寿太郎

問2 山県・松方内閣で外相も務めた空欄 (1) の「公使」を以下のア～クから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 加藤高明      イ 諸井六郎      ウ 青木周蔵      エ 堀口九萬一  
オ 榎本武揚      カ 寺島宗則      キ 沢 宣嘉      ク 井上 馨

問3 下線部(b)の「新條約」を以下のア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 日露通商航海条約      イ 日英修好通商条約  
ウ 日米通商航海条約      エ 日清通商航海条約  
オ 日英通商航海条約      カ 日露講和条約  
キ 日澳修好通商航海条約      ク 日米友好通商航海条約

問4 下線部(c)を説明した文章X、およびその後の事態を説明した文章YとZの正誤の組合せとして正しいものを、以下のア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

X 国王哲宗の外戚閔氏一族を排除し、大院君を擁立して、親日的な政権を朝鮮に作ることをさしている。

Y 日本と結んで朝鮮の近代化をはかろうとした一派は、アロー戦争における清国の敗北を改革の好機と判断し、クーデタをおこしたが、失敗した。

Z 悪化した日清関係を打開するために、日本政府は井上馨を天津に派遣し、清国とのあいだに天津条約を結んだ。

- ア X 正 Y 正 Z 正      イ X 正 Y 正 Z 誤  
ウ X 正 Y 誤 Z 正      エ X 正 Y 誤 Z 誤  
オ X 誤 Y 正 Z 正      カ X 誤 Y 正 Z 誤  
キ X 誤 Y 誤 Z 正      ク X 誤 Y 誤 Z 誤

C 次の文章は、ある弁護士が大正期に記したものである。

この流言蜚語<sup>りゅうげんひご</sup>当然の結果、愛国の熱情に燃ゆる憂国の民衆は期せずして奮然と  
起ち、ただ一杯のバケツの水よくこれを消し得た火事などには目もくれず、大  
国民の襟度<sup>きんど</sup>を以て遠く一目散に逃げ出した。これでは堪<sup>たま</sup>らんとあつて戒嚴令は  
布かれる、軍隊は出る、銃丸は飛ぶ伝令は走る、演説はやる掲示は貼る、内訓  
も出る公報も出る、自警団も出来れば義勇団も出来る、在郷軍人も青年団員も  
兇徒<sup>きようと</sup>も暴徒皆一斉に武器<sup>ぶき</sup>を執<sup>と</sup>った。そこで朝鮮人の大虐殺となり、支那人の中  
虐殺となり、半米人の小虐殺となり、労働運動者、無政府主義者<sup>(a)</sup>及び日本人<sup>(b)</sup>  
の虐殺となった。

問1 下線部(a)の「無政府主義者」を以下のア～シから二人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| ア 岡本 潤 | イ 伊藤野枝 | ウ 幸徳秋水 | エ 辻 潤   |
| オ 高群逸枝 | カ 難波大助 | キ 宮下太吉 | ク 菅野スガ  |
| ケ 金子文子 | コ 大杉 栄 | サ 神近市子 | シ 石川三四郎 |

問2 下線部(b)にある「日本人の虐殺」をさす事件を以下のア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |         |        |        |
|--------|---------|--------|--------|
| ア 飯田事件 | イ 加波山事件 | ウ 亀戸事件 | エ 秩父事件 |
| オ 福島事件 | カ 虎の門事件 | キ 大逆事件 | ク 大阪事件 |

D 史料Cで記した事件の発端となった出来事によって日本経済は大打撃を受け、銀行手持ちの手形も決済不能となり、その処理をきっかけとして恐慌が起こった。次の文章は、伊東巳代治がこの恐慌に対する政府の政策について枢密院本会議でおこなった演説である。

現在都下ニ於テ不確實ナル銀行破綻ノ為ニ、数万ノ市民ガ悲鳴ヲ挙ゲツツアリ、又関西地方ニ於テ恐慌ノ度深刻ヲ極メントスルアリ、之等ハ決シテ独リ  
(1) 銀行及 (2) 商店ノ為ノミニアラズ、我対支外交ノ無方針ニシテ、居留邦人ノ保護行届カザル為、多年支那ニ在リテ刻苦努力シ来リタル居留民ハ、暴民ノ掠奪ニ遭ヒテ其ノ財産ヲ喪失シ……又貿易関係ニ於テハ、商取引ハ一切中止シ、支那ニ対スル輸出ハ全然杜絶シテ、関西方面ノ製造業者ハ、其ノ工場ヲ閉鎖セントスル惨状ヲ呈シ居レリ、<sup>(a)</sup>現内閣ハ一銀行一商店ノ救済ニ熱心ナルモ、支那方面ノ我ガ居留民及対支貿易ニ付テハ何等施ス所ナク、唯々我等ノ耳ニ達スルモノハ、其ノ惨憺タル暴状ト、<sup>(b)</sup>而シテ政府ガ弾圧手段ヲ用イテ、<sup>(c)</sup>之等ノ報道ヲ新聞紙ニ掲載スルコトヲ禁止シタルコトナリ。

[備考] 旧字体の漢字は新字体に変更し、適宜ルビを付してある。

問1 相互に密接な関係にあった、空欄 (1) と (2) にもっとも適切な語句を以下のア～クからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

|        |        |      |        |
|--------|--------|------|--------|
| ア 村井   | イ 満州中央 | ウ 台湾 | エ 石井   |
| オ 高知商業 | カ 鈴木   | キ 朝鮮 | ク 岩井産業 |

問2 下線部(a)の「現内閣」を以下のア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

|         |        |        |         |
|---------|--------|--------|---------|
| ア 加藤友三郎 | イ 清浦奎吾 | ウ 桂 太郎 | エ 加藤高明  |
| オ 寺内正毅  | カ 原 敬  | キ 浜口雄幸 | ク 若槻礼次郎 |

E 次の文章は、史料Dの出来事の後、日本経済にとって緊急に解決を要する政策課題を論じたものである。

天然自然に斯かる作用を行ふのが金本位制の本質である。しかるに去る  
(a)  から今日まで、日本はこれを停止してゐる。従つてその妙用が行は  
れなかつた。即ち、金本位制の停止がいかなる影響をわが経済界に与へてゐる  
かといへば、対内的には通貨の膨脹を来し、物価を  (1) せしめ、  
 (2) の激増となつて正貨を  (3) させる原因を造つてゐる。

[備考] 旧字体の漢字は新字体に変更してある。

問1 後に暗殺されることになるこの文章を書いた人物を以下のア～クから一人  
選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |         |        |
|--------|---------|--------|
| ア 三土忠造 | イ 石橋湛山  | ウ 浜口雄幸 |
| エ 山崎靖純 | オ 勝田貞次  | カ 高橋是清 |
| キ 高橋亀吉 | ク 井上準之助 |        |

問2 文中の空欄  (1) ~  (3) にもっとも適した語句の組合せのうち  
正しいものを以下のア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア (1) 暴落 — (2) 輸出 — (3) 流入  
イ (1) 暴落 — (2) 輸出 — (3) 流出  
ウ (1) 暴落 — (2) 輸入 — (3) 流入  
エ (1) 暴落 — (2) 輸入 — (3) 流出  
オ (1) 騰貴 — (2) 輸出 — (3) 流入  
カ (1) 騰貴 — (2) 輸出 — (3) 流出  
キ (1) 騰貴 — (2) 輸入 — (3) 流入  
ク (1) 騰貴 — (2) 輸入 — (3) 流出

問3 原史料では、下線部(a)の空欄に年号が記されている。この下線部(a)にある金本位制の「停止」のきっかけとなった出来事としてもっとも適切なものを以下のア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| ア 日露戦争    | イ 第二次世界大戦 | ウ 昭和恐慌    |
| エ 1890年恐慌 | オ 日清戦争    | カ 第一次世界大戦 |
| キ 戦後恐慌    | ク 1900年恐慌 |           |

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

日本において鑄貨が最初に鑄造されたのは7世紀のころと思われる。天武天皇のころ (1) が鑄造された。708年武蔵国から銅が献上されると、政府は唐にならい和同開珎を鑄造した。最後に鑄造された (2) までの鑄貨を本朝十二銭という。

その後日本では鑄貨は長い間鑄造されず、平安末期から室町時代にかけて中国から銭貨を大量に輸入し、それを用いた。15世紀には (3) などの明銭が使われた。

16世紀、豊臣秀吉は、佐渡、石見などの主要な鉱山を直轄にして、(4) を鑄造した。徳川家康は、金座・銀座で (5) などを鑄造し、三代将軍家光は、1636年に江戸と近江坂本に銭座を設け (6) を鑄造した。金・銀・銭が並んで流通するため、三貨制度と呼ばれる。大きくは、東日本は (7) 遣い、西日本は (8) 遣いであった。

明治政府は資金調達のために太政官札を発行し、1871年には新貨条例を定め、新たに円・銭・<sup>(a)</sup>(9) を単位とする、十進法の貨幣制度を定めた。また1897年には貨幣法が制定され、日清戦争の賠償金の一部を準備金として、金本位制が確立した。その後1931年、高橋是清蔵相は金輸出再禁止を断行し、ついで円の金<sup>(b)</sup>兌換が停止された。

第二次世界大戦後、インフレが進行した。脆弱な日本経済を立て直すために、アメリカから銀行家の (10) が特別公使として派遣され、均衡財政を指示し、1ドル＝ (11) 円の単一為替レートが設定された。

1971年8月アメリカの (12) 大統領は国際的にドルの金交換を停止したために、先進国は数年をかけ (13) 制へ移行した。



問1 文中の (1) ～ (8) にもっとも適切な語句を以下のア～ノからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| ア 慶長大判 | イ 豆板銀  | ウ 寛平大宝 | エ 祠堂銭  |
| オ 貞観永宝 | カ 丁銀   | キ 正徳小判 | ク 永楽通宝 |
| ケ 天正大判 | コ 布銭   | サ 乾元大宝 | シ 富本銭  |
| ス 文禄通宝 | セ 神功開宝 | ソ 万延小判 | タ 洋銀   |
| チ 撰銭   | ツ 寛永通宝 | テ 刀銭   | ト 金    |
| ナ 銀    | ニ 銅    | ヌ 札    | ネ 米    |
| ノ 絹    |        |        |        |

問2 文中の下線部(a)を説明するもっとも適切なものを以下のア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |          |          |         |
|----------|----------|---------|
| ア 兌換政府紙幣 | イ 兌換銀行券  | ウ 兌換手形  |
| エ 兌換小切手  | オ 不換政府紙幣 | カ 不換銀行券 |
| キ 不換手形   | ク 不換小切手  |         |

問3 文中の下線部(b)の説明としてもっとも適切な語句を以下のア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| ア 金本位制   | イ 銀本位制  | ウ 金銀複本位制 |
| エ 金為替本位制 | オ 自由銀行制 | カ 管理通貨制  |
| キ 基軸通貨制  | ク 自由放任制 |          |

問4 文中の (9) にもっとも適切な語句を以下のア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|
| ア 文 | イ 厘 | ウ 朱 | エ 毛 |
| オ 匁 | カ 兩 | キ 貫 | ク 分 |

問5 文中の (10) と (12) にもっとも適切な人物を以下のア～タからそれぞれ一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |           |         |           |
|-----------|---------|-----------|
| ア トルーマン   | イ カーター  | ウ マクナマラ   |
| エ チャーチル   | オ シャウブ  | カ ケネディ    |
| キ ダレス     | ク ニクソン  | ケ アイゼンハワー |
| コ ルーズベルト  | サ モルガン  | シ フォード    |
| ス キッシンジャー | セ マーシャル | ソ ドッジ     |
| タ ジョンソン   |         |           |

問6 文中の (11) にもっとも適切な数字を以下のア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| ア 1   | イ 2   | ウ 50  | エ 80  |
| オ 100 | カ 308 | キ 360 | ク 380 |

問7 文中の (13) にもっとも適切な語句を以下のア～クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |          |          |
|--------|----------|----------|
| ア IMF  | イ 固定為替相場 | ウ 変動為替相場 |
| エ 金本位  | オ 銀本位    | カ 複本位    |
| キ 基軸通貨 | ク ベッグ    |          |